

平成26年度 第2回学校歯科保健推進検討委員会 活動報告

日時：2月13日（金）13：40～14：40

講話 「ブラッシング指導の実際」

～歯科衛生士からみた学校歯科保健～

会場：県庁視聴覚室

対象：養護教諭 指導員 小学校12名 中学校7名 高校2名

（各地区に帰り研修会で復伝される）

講師 河野好美

山口県教育庁学校安全・体育課より講話依頼がありました。事前に質問事項が寄せられそれに対して返答する形で進めました。かなり多くの質問事項が寄せられましたが、その中で多かったのが磨き残しに効果的な指導方法があるかということでした。実際に先生方に体験してもらうことにしました。歯ブラシを配りご自分の歯を磨いてもらい、透明カップに入れた水の中で歯ブラシをかき混ぜると濁り具合で汚れの程度を見てもらいました。「これは子供たちにつかえますね」と絶賛されました。又「あいうべ体操」も体験してもらうと「良い事を聞きました」「ぜひ実践したいです」と先生方に感謝され、事前準備の苦勞も吹っ飛びました。講話が終わった後、協議・情報交換の場にも参加させてもらいました。小規模校と大規模校、地域による差もあり各学校の取り組みや悩みを聞くことができ勉強になりました。これからの歯科保健指導の参考になる良い機会となりました。



家庭環境、豊かな時代によるペットボトル症候群・米離れ。よく噛んで食べるおにぎりと、噛まないで沢山の砂糖が身体に入るジュースとどちらが良いか説明しているところです。

